

議長 仲田 強様

地方議員基礎講座受講報告書 (政務活動費関係)



【研修先】 東京都中央区

TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター

【年月日】

平成30年2月19日(月)～2月21日(水)

7番 小川豊治 

I、講師

宮本正一（日本公共経営研究所代表）

1、 受講内容

- ① 「キラリと光る質問原稿の書き方」
- ② 政策提案の質問の事例

2、 テーマ

- まずは質問作成の基本をマスター
- 押さえておかないと恥をかくポイント
- あなたの質問はこう扱われている

◎質問事項についてどう決めるか

まずはテーマを考えその上で優先順位を考える。基本的には自分にとって弱い部分には手を出さない。

自分のプロフィールを生かす。興味のある分野についての質問は自分のテンションを継続することができる。緊急性のある分野（行政課題）の問題提起。突発的に起こった課題等について等を中心に講義を受けた。

○総括

午前中一般質問についての講義を受け、その中で理想的な質問としては質問の範囲をどのように決めるか。また、その質問による効果はどうかなど、博士論文のように作成すべき等を受講。その中でテーマを決定し、そして基本となる幹の決定。例えば高齢者保健福祉計画やまち、ひと、しごと創生総合戦略等に基づいた市の行政の現在の係等（市の事業）について関連性を持った質問すべきであることを教えられました。

今後においてはその方式により質問をすればよい論点が明確になると思われるので出来る限り資料収集の上質問をするように心がけたい。

II、政策提案質問の事例

質問の範囲はその市町村の行財政全般であり具体的には自治事務、法定受託事務であるを問わず市町村が処理する一切の行政事務である。

田中角栄元総理大臣や国立代々木競技場の丹下健三氏の事例をもとに統計を活用すべきとの説明を受ける。特に国県の統計資料を活用すべき、しかも無料で提供をしてくれるので大いに活用をするべきである。

◎質問作成までの基本的な手順

- 現場主義を徹底する。地域の有力者に聞く等
- 担当課と先ず協議をする。質問事項が適正か、実現の可能性があるか等を含めた事前協議が必要
- 先進地の視察

そのうえで年間原稿作成ノートをつくり項目、開催月ごとに項目をまとめれば重複は避けられるし一目に質問項目が確認できる。



◎総括まとめ

今回の地方議員の基礎講座を受けるにあたり民間主催でもあり受講料は高額であるし、それぞれの団体や会社が実施をしているので参加者は少ないと予想していたが全く予想に反し北は北海道から南は九州地方まで全国各地より多くの議員が参加されていたのにはまず驚いたことでした。講師の先生は「日本公共経営研究所」代表の宮本正一氏。平成7年に27歳で寝屋川市議会議員に当選し5期20年にわたり在籍しそのうち議長としても務めていた。また、橋下

徹大阪府知事選や各地域の12の選挙対策本部で事務局長を務めるなど議員、また選挙においては実践に基づいた具体的事例でしかも現場主義で培った講義であり今後の議員活動に生かせることが多くあった。

これまで学者の先生方や都道府県議長会、全国市議会議長会の法制担当など地方自治法に基づく議会運営のあり方等何回か受講をしましたが今回は議員としての立場でものの見方、一般質問の要旨など視点を変えたうえでの講習で各市の具体的事例について各議員より発表を求めたことは今後の議会活動の上で大いに参考になりました。

最後に役人を動かした田中語録として

方針を示すのが政治家の仕事だ

役人は生きたコンピューターだ

方針を示さない政治家は役人以下だ

この言葉と今回習った質問事項について今後の議会活動に生かしていきます。